

第60回特別展

高遠に残る武具

平成30年10月12日[金]▶12月9日[日]

休館日：10月15・22・29日、11月5・12・19・26日、12月3日

高遠藩主から拝領した

なぎなた
薙刀
個人蔵

高遠の刀鍛冶が作った刀
銘「信州高遠住野溝
彦右衛門源包正、慶応三年八月日」
当館蔵

かぶと
高遠藩主内藤家の兜
当館蔵

伊那市立 高遠町歴史博物館

長野県伊那市高遠町東高遠 457
Tel 0265-94-4444

- 開館時間 | 9時～17時 (入館は16時30分まで)
- 入館料 | 一般 400円 (団体 300円)
小中学生 200円 (団体 150円)
- 上伊那地域の小中高校生は入館無料

*身体障がい者手帳・療育手帳・精神障がい者保険福祉手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名の入館料は免除されます。

<主催> 伊那市教育委員会、伊那市立高遠町歴史博物館



よろいの袖の文様より



よろいの袖の文様より

第60回特別展 高遠に残る武具



阪本天山の子孫に伝わった
火縄銃（阪本家の家紋入り）
個人蔵、当館寄託



つば
高遠藩の職人が作った鐘
銘「高遠住忠俊、享保十八年」
当館蔵



高遠藩内の村役人が藩主から
かっちゅう
いただいた甲冑
個人蔵

江戸時代に城下町であった高遠には武具がいくつも残されています。当館が収蔵する資料のなかでも武具は重要なコレクションとなっています。

平和な江戸時代、武具が実戦で使われることはほとんどありませんでしたが、各藩は武備を第一とし武具は大切にされていました。

武具は武士にとって身分を示す道具でもあり、美しく飾られたデザインにはこだわりがみられます。

今回の特別展では当館のさまざまな武具を展示するとともに、個人の方がお持ちの武具を公募してお借りし、展示しています。

高遠に残る武具の世界をごらんください。

関連イベント

講演会

- 日時 | 11月10日[土] 13:30-15:00
- 会場 | 高遠町地域間交流施設 (当館敷地内)
- 講師 | 飯田俊久氏 [公益財団法人 日本美術刀剣保存協会 事務局長 / 刀剣博物館学芸員]
- 講演テーマ | 刀剣に関する内容 (タイトル未定)
- 定員 | 40名。10月12日[金]から電話で申し込み受付
- 参加費 | 無料

紙でかぶとを作ろう

- 日時 | 11月11日 [日] 13:30-15:30
- 会場 | 高遠町地域間交流施設 (当館敷地内)
- 内容 | 紙でかぶとを作り、しくみを学びます
- 定員 | 10名。10月12日[金] から電話で申し込み受付
- 対象年齢 | 小学4年以上
- 参加費 | 500円

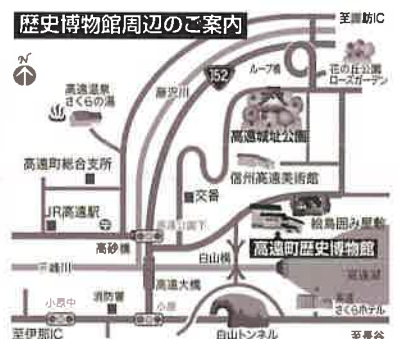
ギャラリートーク

- 日時 | 10月20日[土] 13:30-14:10
11月18日[日] 13:30-14:10
- 参加費 | 入館料

高遠藩の陣太鼓
[高遠]的場区蔵、当館寄託



[国]字紋の陣羽織
当館蔵



よろいの袖の文様より

阪本天山の
筆跡の模倣

伊那市立 高遠町歴史博物館

長野県伊那市高遠町東高遠 457

Tel. 0265-94-4444

- 開館時間 | 9時～17時 (入館は16時30分まで)
- 入館料 | 一般 400円 (団体 300円)
小中学生 200円 (団体 150円)
- 上伊那地域の小中高校生は入館無料